

■ランプ交換について △注意 ランプ交換の際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

△警告 指定のランプ以外は使用しないでください。
間違った種類、ワット数のランプを使用すると火災の原因になります。

△注意 点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため触らないでください。やけどの原因になります。
しばらくしてから行なってください。

△注意 ランプホルダーやランプ支持パネを強く弾かないでください。ランプの破損・けがの原因になります。

1 電源を切る

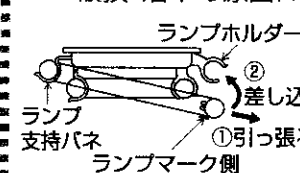
2 セードを外す

■取外手順2を参考にセードを取外す。

3 古くなったランプを取外す

4 新しいランプを取付ける

ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
破損・落下の原因になります。



●ランプは本体の中央に位置するように取付けてください。
①ランプマークが下側になるようにしてランプ支持パネに取付けてください。
②ランプホルダーに確実に差し込んでください。浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。

5 セードを取付ける

■取付手順7を参考にセードを取付ける。

6 使用済みのランプは

必ず市区町村の指示に従い、処理してください。

■器具のお手入れ △注意 器具のお手入れの際は安全のため電源を切ってください。感電の原因になります。

- 明るく安全に使用していただくために6ヶ月に1回程度の清掃・点検をしてください。
ダイニング・キッチンなどの汚れやすい場所は年4回程度の清掃が目安です。
- 蛍光灯の両端が黒ずみだしたら交換時期です。
長い間使用していると知らないうちに暗くなってきます。定期的に交換しましょう。
- 器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。
シンナーやベンジンなどの揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。
また、洗剤を使用した場合は、洗剤が残らないよう、よく拭き取ってください。変質・故障の原因になります。

KOIZUMI コイズミ照明器具

型番 BHN535337

施工取扱説明書

お客様へ

器具の取付けの際、電気工事は工事店・電器店へ依頼してください。
一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

工事店様へ

施工前には、この説明書をよくご覧の上、正しく施工してください。
この説明書は必ずお客様へお渡しください。

保存用

【安全上のご注意】

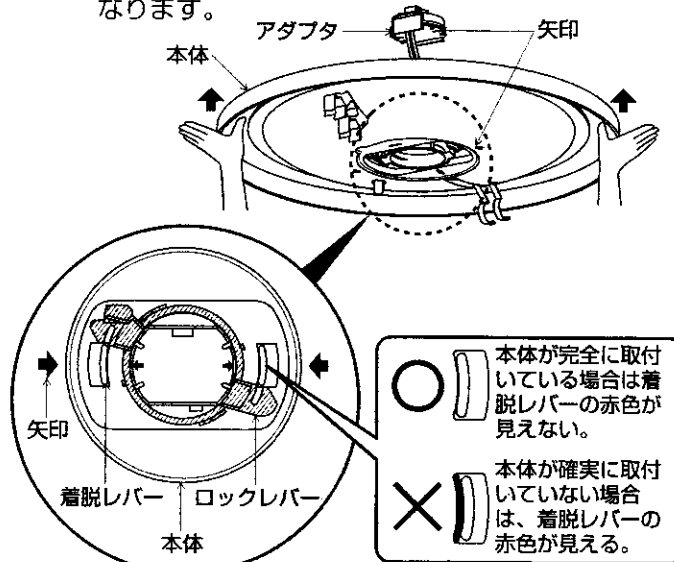
警告		この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	
！ 厳守	器具の取付けは、説明書に従い確実に行ってください。 →器具の取付けに不備があると火災・感電・落下によるけがの原因になります。	！ 禁止	下図のような場所や配線器具の場合、取付けできません。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。 配線器具の交換が必要です。配線器具の交換には資格が必要です。工事店・電器店に依頼してください。
禁止	このような場所には取付けしないでください。 この器具は天井取付専用器具です。傾斜天井・壁などには取付けできません。 不安定な場所やベニヤ板などの強度の弱い場所、使用後のネジ穴には取付けしないでください。 →器具の落下によるけがの原因になります。		 ローゼット シーリング ケースウェイはめ込み配線器具
分解禁止	器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。 →火災・感電・落下によるけがの原因になります。		●配線器具の出しろが小さいもの シーリングボディ 20mm未満 埋込ローゼット 10mm未満 フル引掛シーリング 20mm未満 フル引掛ローゼット 8mm未満
禁止	器具のすきまや放熱穴などに金属類を差し込まないでください。 →感電・故障の原因になります。		●破損している ヒビ割れ 欠けている ●電源端子露出形 グラツキやガタツキ 電源端子
禁止	器具やランプを布や紙などでおおって使用しないでください。 →火災の原因になります。	！ 厳守	異常を感じた場合は、速やかに電源を切ってください。 →放置しますと火災・落下によるけがの原因になります。工事店・電器店にご相談ください。
禁止	埋込ボックスに取付ける場合は、金属製のものを使用してください。 →樹脂製ボックスの場合、器具の熱伝導により、樹脂の劣化が促進され火災・落下によるけがの原因になります。		

コイズミ照明器具 保証書		※お客様へ
＜保証について＞ 1. 取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに沿った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理させていただきます。 2. 保証期間は製品お買い上げ日より1年間です。 但し、蛍光灯安定器・HID器具の安定器は3年間です。 3. ランプ・グロー点灯管・電池などの消耗品は、対象外といたします。 4. 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は上記の半分の期間とします。 5. 保証期間でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷 (2)お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷 (4)車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷 (5)施工上の不備に起因する故障や不具合 (6)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷 (7)保証書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示のない場合 6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。 7. 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。		保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。
＜アフターサービスについて＞ 1. 保証期間中に万一故障がおきた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店・工事店までお申し出ください。 2. 保証期間を過ぎているときは、お買い上げの販売店・工事店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。 3. 販売店・工事店にご依頼にならない場合や修理についてのご相談は弊社サービスセンターにご連絡ください。 4. 弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後最低6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。 従いまして主に電気部品が中心でセードなどの意匠部品は対象外です。		※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理や、製品・修理に関するご相談並びにご不明な点は、お買い上げの販売店・工事店または別紙記載のコイズミ照明「お客様相談室」・サービスセンターにお問合せください。
※This warranty is valid only in Japan.		
保証期間(お引き渡し日より)		お買上年月日
本体: 1年間 安定器: 3年間		取扱販売店名・工事店名・住所・電話番号
お客様	お名前	
	ご住所	
	電話 ()	

取説No. C501-157MS/S・T-00

- ②本体の穴に電源コードを通す。
③本体の矢印をアダプタの矢印に合わせて押し上げる。

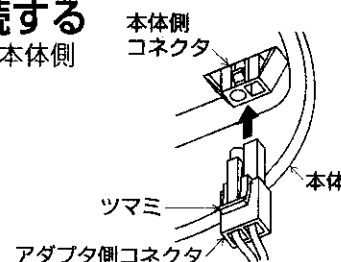
▲警告 着脱レバーの赤色が見えている場合は、見えなくなるまで本体を再度強く押し上げる。取付けが不完全な場合、落下によるけがの原因になります。



- ④本体取付け後、ロックレバーを回し、着脱レバーを固定する。

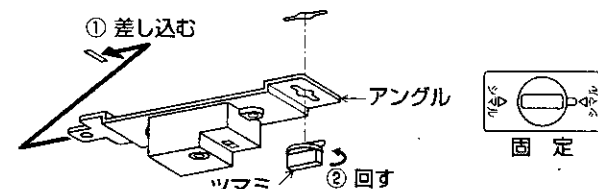
4 コネクタを接続する

アダプタ側コネクタを本体側コネクタに接続する。



5 アングルを取付ける

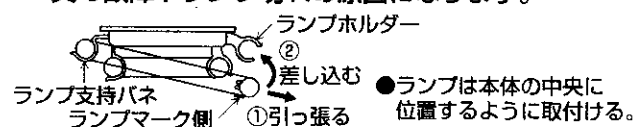
アングルを差し込み、ツマミで固定する。



6 ランプを取付ける

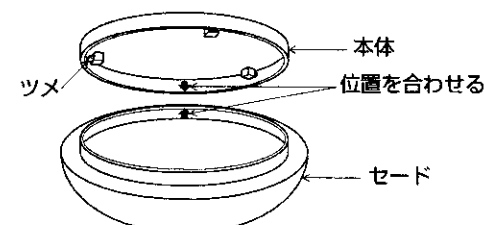
ランプマークが下側になるようにしてランプ支持パネルに取付ける。

※ランプホルダーに確実に差し込む。浅い場合は器具の故障やランプ切れの原因になります。



7 セードを取付ける

セードと本体の矢印を合わせ、まっすぐに持ち上げて確実に取付ける。



8 点灯の確認を行なう

■取外手順

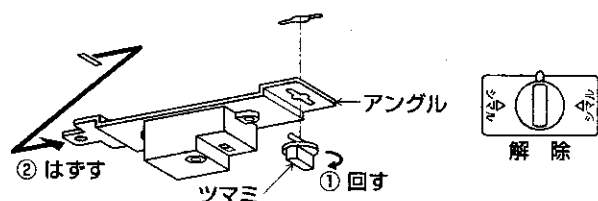
1 壁スイッチで電源を切る

2 セードを取外す

セードを"カチッ"と音がするまで右または左に回して取外す。

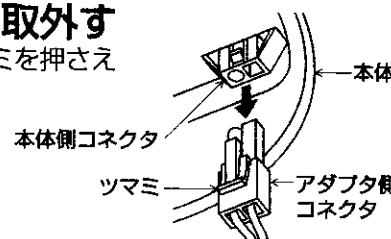
3 アングルを取外す

ツマミを回してアングルを取外す。



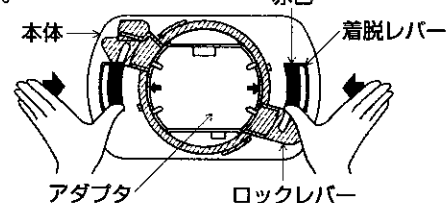
4 コネクタを取外す

コネクタをツマミを押さえながら引き抜く。



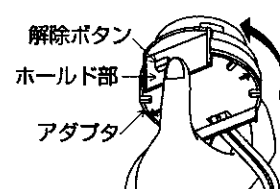
5 本体を取外す

本体のロックレバーを解除する。本体を支えながら、着脱レバーを外側にひるげ、本体を取外す。



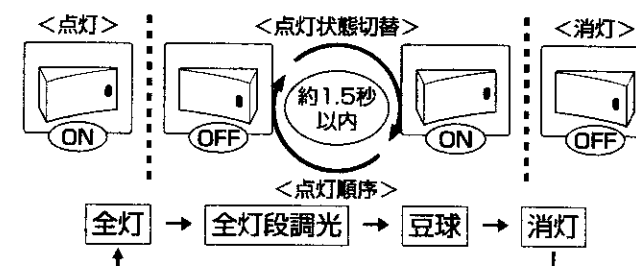
6 アダプタを取外す

アダプタのホールド部を持ち、解除ボタンを押しながら左に回し、アダプタを取外す。



■壁スイッチで操作する (ブルース操作)

- 壁スイッチをONにすると点灯します。
・壁スイッチをOFFにし、約1.5秒以内にONにすると点灯状態の切り替えができます。
・壁スイッチをOFFにし、約2秒以上過ぎてからONにすると全灯の状態点灯します。
- 1つの壁スイッチで2台以上の器具をブルース操作することは避けてください。
- おでかけの際には壁スイッチをOFFにしてください。(点灯中に停電などで一定時間電源が切れた場合、全灯の状態になります。)



＜ホタルスイッチなど、電源OFF時に表示が点灯するタイプのスイッチを使用する場合＞

壁スイッチの使用は2個(3路配線)までとしてください。3個(4路配線)以上使用されますとブルース動作が正常にはたらかない場合があります。壁スイッチを3個以上使用される場合は、ホタルスイッチタイプ以外のスイッチを使用してください。

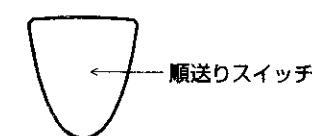
■リモコンで操作する

1 リモコン送信機の操作について

リモコン送信機を操作することにより

全灯 → 全灯段階調光 → 豆球 → 消灯 の順送りが可能です。

リモコン送信機は必ず器具に向けて操作してください。また、リモコン送信機を操作すると、確認音が本体よりします。



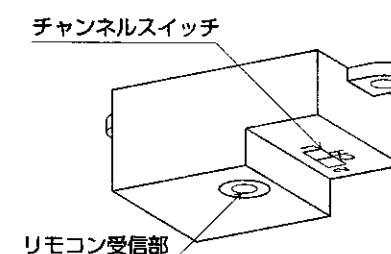
2 リモコン受信部のスイッチについて

＜リモコン受信部＞

リモコン送信機からの信号を受けます。(傷つけたり、汚したりしないでください。)

＜チャンネルスイッチ＞

出荷時は1に設定されています。



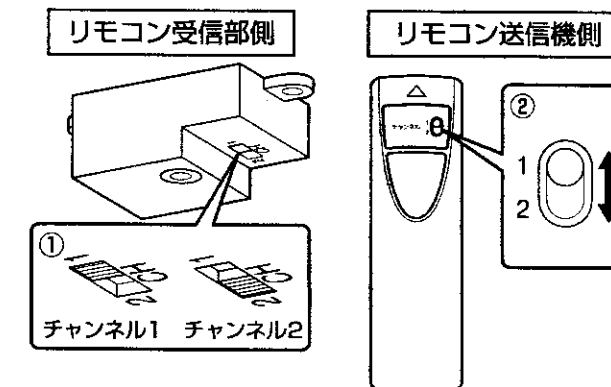
3 チャンネルの設定について

＜1台の器具のみ操作する場合＞

リモコン送信機のチャンネルを1にしてください。

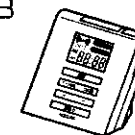
＜2台の器具を操作する場合＞

一室で2台の器具をリモコンで操作する場合には、どちらか一方のリモコン受信部側のチャンネルを1にし、他方を2にしてください。リモコン送信機側のチャンネルを操作したい照明器具のチャンネルに合わせてください。



別売リモコン送信機

BEE4001TB

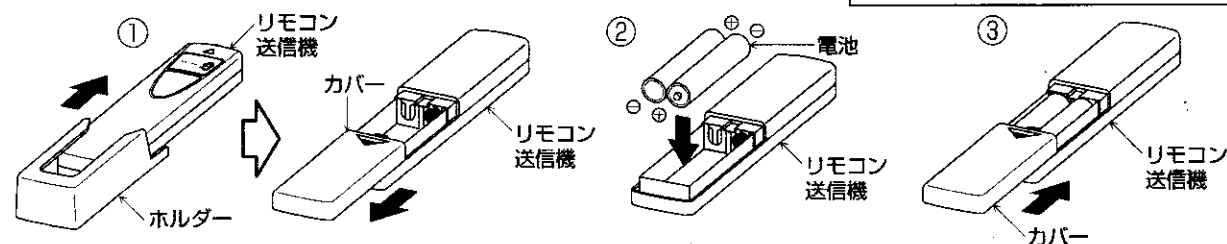


照明のON・OFFタイマー、アラームの機能があります。順送りでの明るさの切り替えができます。

■リモコン送信機について

1 リモコン送信機をホルダーから取出してください

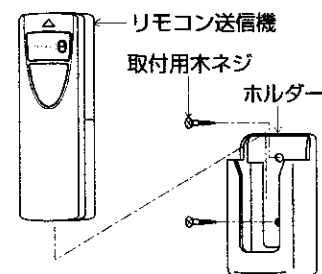
- ①リモコン送信機裏側のカバーを手前に引き、カバーをはずす。
- ②電池の極性を表示に合わせて入れる。
- ③カバーを取付ける。



お買い上げ時にセットされている電池はモニター用電池ですので、早く切れることがあります。あらかじめご了承ください。

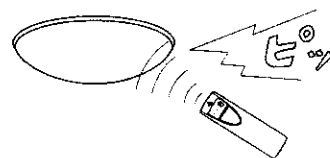
2 リモコン送信機を壁などに取付ける場合

必ず付属の取付用木ネジ2本で確実に固定する。



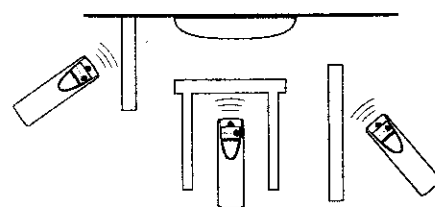
3 リモコン送信機を操作

すると確認音が本体よりします。



4 使用上のご注意

- このリモコン送信機は、コイズミ照明器具専用です。
リモコン式テレビなどには使用できません。
- 電池の寿命は、1日10回の常温使用で約半年です。
電池は半年を目安に、必ず2本同時に交換してください。
※充電式(Ni-Cd)電池は使用できません。
- 長時間使用しない場合は、壁スイッチをOFFにしてください。
リモコン送信機で消灯した場合、照明器具側に待機電力がかかり電力を消費します。
- 壁スイッチで電源を切った場合は、リモコン送信機を操作しても器具は動作しません。
壁スイッチで電源を入れてから操作してください。
- リモコン送信機は、落としたり、水をかけたり、ふみつけたりしないでください。
故障の原因になります。
- 温度の高温なもの近くでは使用しないでください。
過熱・故障の原因になります。
- 室温が低い場合は、点灯直後の再操作に時間がかかることがあります。
器具内の温度が上昇しますと正常に戻ります。
- リモコン送信機の発信部が汚れますと作動しにくくなります。
乾いた柔らかい布などで汚れを拭き取ってください。
- リモコン送信機の周囲にしゃべり物がある場合、作動しない場所があります。
しゃべり物をさけて再度スイッチを押してください。
- 器具をご使用になる部屋の天井・壁・床などの色が黒っぽいとリモコン送信機が作動しにくい場合があります。



■使用上のご注意

- 照明器具の寿命は、使用条件、使用環境で異なりますが、一般的な使用状態で8～10年が目安です。
数年に1回は、専門家(工事店・電器店)による点検を実施していただき、不具合がありましたら適切な処置を施してください。放置すると、火災・感電・故障の原因になります。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音が入る場合があります。
器具と音響製品を離してご使用ください。
- 点灯および消灯直後に音が発生する場合があります。熱による器具構成材料の収縮音です。
ひどい場合は購入店にお申し出ください。
- 多灯用器具は間引き点灯しないでください。過大電流により安定器の短寿命の原因になります。

■故障ではありません

以下のような症状は、ランプが寿命末期になり、器具の保護回路が働いたためで、故障ではありません。

点灯中に突然ランプが・・・

- ・消灯もしくは点滅する
- ・消灯して暗くなったり、豆球が点灯する
- ・調光操作ができなくなったりする

いずれの場合も電源を入れ直すと再び点灯するが、しばらくすると同じ状態になる

電源を切ってランプを交換して電源を入れ直せば正常に点灯します。